



ぶらり社南 ~江守中編~



⑩江守用水(九ヶ用水)



江守惣兵衛が足羽川(小稲津町付近)から取水し、領地である8ヶ村まで整備をした。江守中には、南江守分水口、測分水口があり、本線は種池、下江守、久喜津の一部まで流れていたが耕地整理(1955年頃)に伴い、現在は種池までとなっている。川幅が現在の2倍以上あり、子どもたちが魚つかみやたらいに乗り川遊びをしていた。

⑪福井南警察署

1979年開署。1960年頃までは建物がなく、東の方向を見ると国鉄の汽車が吐く煙が見えた。



⑫アスファルトリサイクル

アスファルト合材製造販売・アスファルト廃材の中間処理(日広開発)



⑬鯉のぼり

毎年5月にナイガラ状に鯉のぼりを泳がして町民を楽しませてくれている。(山善運輸)



江守惣兵衛

1506年加賀一向一揆を追撃した朝倉勢中にその名がみえる。「城跡考」では足羽郡江守中村の七ヶ村の郷社とされる。旧社名は熊野神社。1971年10月本殿を改装。1975年9月17日に豪風雷雨により鳥居が倒壊し建立。1976年4月拝殿を新築。敷地南側に土塁跡があり、朝倉義景家臣の江守惣兵衛の武家屋敷跡と言われている。

『朝倉家臣団人名辞典より』

④ハツ手神殿

火の神様として崇拜されている。弁財天は八臂像。集落では「やて神様」と呼ばれている



①江守中会館

1984年まで自治会の仏教会館兼集会場として使用していたが、新築を機に江守会館と名称を変更した。ここでは、以前、集落だけの愛宕神社が存在していた。



⑤江守神社

旧来、花堂村・西谷村・舞屋村・洲村・種池村・下江守村・江守中村の七ヶ村の郷社とされる。旧社名は熊野神社。1971年10月本殿を改装。1975年9月17日に豪風雷雨により鳥居が倒壊し建立。1976年4月拝殿を新築。敷地南側に土塁跡があり、朝倉義景家臣の江守惣兵衛の武家屋敷跡と言われている。



③石造り床版

江守用水の農道に架橋であったもの。笏谷石を利用した。



②「櫓」

明治・大正時代は水害が多く、そのための避難用の舟が一艘あったが、1948年の福井震災で大破し、「櫓」のみが江守会館に残っている。



⑥奉斎殿

1989年3月、江守神社境内に創設された。中世期末期頃、境内地西側に時宗の寺院来迎寺が存在し、「江守惣兵衛氏(朝倉義景の家臣)との強い関係があったと伝えられている」文化財として価値ある中世の石造物(凝灰岩製)が収納されている。



⑦江端川(旧浅水川)

河川は数多く蛇行して水害が絶えなかった。明治13年頃から改修等が始まったが、それでも被害が甚大であったため、水害から守るため堤防が二重になっていた。



⑨江守中橋

福井市管内で架線に架かる数少ない幅2.5mの人道専用橋



⑧福井豪雨跡(2004年)

7月18日未明から昼前にかけて、福井県嶺北地方から岐阜県西部で起こった豪雨災害(水害)の際、堤防が決壊になりかけた。町内の自主防災組織・消防団が全力で土嚢を積み上げて防いだ(3か所あり)。(現在は福井県が整備済)

